

歌劇『優雅なインドの国々』

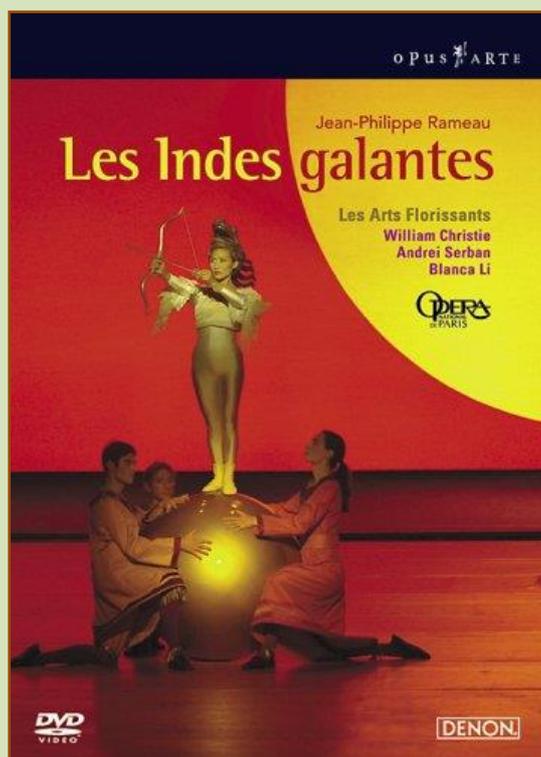
(全4幕プロローグ付・上演時間:約2時間30分)

作曲:ジャン・フィリップ・ラモー

台本:ルイ・フェズリエ(フランス語)

初演:1735年・パレ・ロワイヤル(パリ)

第4幕追加初演:1736年・オペラ座(パリ)



〔あらすじ〕

プロローグでは美の女神エベが、若者たちを集めて、楽しそうに歌い踊っている。が、突然、戦いの女神ベローナが現れて、「戦うのだ。」と叫び、恋人たちも兵士たちとともに、ベローナに従い去ってしまう。エベは、ヴェヌスの息子アモールたちに、奪われた恋人たちを取り戻すため、世界の果てまで行って愛の矢を放つように命じる…命じられたアモールたちは、当時の辺境即ちインドの国々(トルコ(第1幕)ペルー(第2幕)ペルシャ(第3幕)アメリカ(第4幕))へと飛び立ってゆく……

演奏はレザール・フロリサン(管弦楽&合唱)、指揮はウィリアム・クリスティ。

2003年9月パリ・オペラ座におけるライブ収録。

カラフルで斬新且つ華麗な舞台です。ちょっとライオンキングみたい。バレエシーンも多くバレエとしても楽しめる内容です。そして最後のカーテンコールでとても洒落た趣向が待っています。

「キネマ旬報社」データベースより
ウィリアム・クリスティ&レザール・フロリサンが、パリ・オペラ座(ガルニエ宮)との共同プロジェクトで上演した、ラモーの代表作。原色を生かしたステージデザイン、象徴的なコスチューム、異国というよりも無国籍なイメージで魅せる。

「Oricon」データベースより
奇想天外なオペラ=バレエの世界。
パリの聴衆を抱腹絶倒の渦に巻き込んだラモーのエキゾチックな傑作オペラをDVD化。
初演の地、パリ・オペラ座で上演した舞台のライブ映像を収録。

日時 / 9月21日(日) 13:30~16:30

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 清水 俊一 ・ 佐藤 久男

参加自由 ・ 入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>